

内航コンテナ船サービス紹介

物流の2024年問題に向けて



2023年10月26日

 井本商運株式会社



1. 井本商運について

航路ネットワークと運航船舶

2. 内航フィーダー輸送(輸出入貨物)

国際コンテナ戦略港湾

3. 国内貨物輸送(動静脈物流)

2024年問題に向けて



1. 井本商運について

航路ネットワークと運航船舶

2. 内航フィーダー輸送(輸出入貨物)

国際コンテナ戦略港湾

3. 国内貨物輸送(動静脈物流)

2024年問題に向けて

運航船舶（内航コンテナ船）

豊富な運航船隊により、荷量に応じた配船を実施

お客様の貨物を最良のサービスで目的地にお届けする事が可能。



<計画中>

- 1000TEU Class × 1
- 400TEU Class × 1
- 200TEU Class × 2

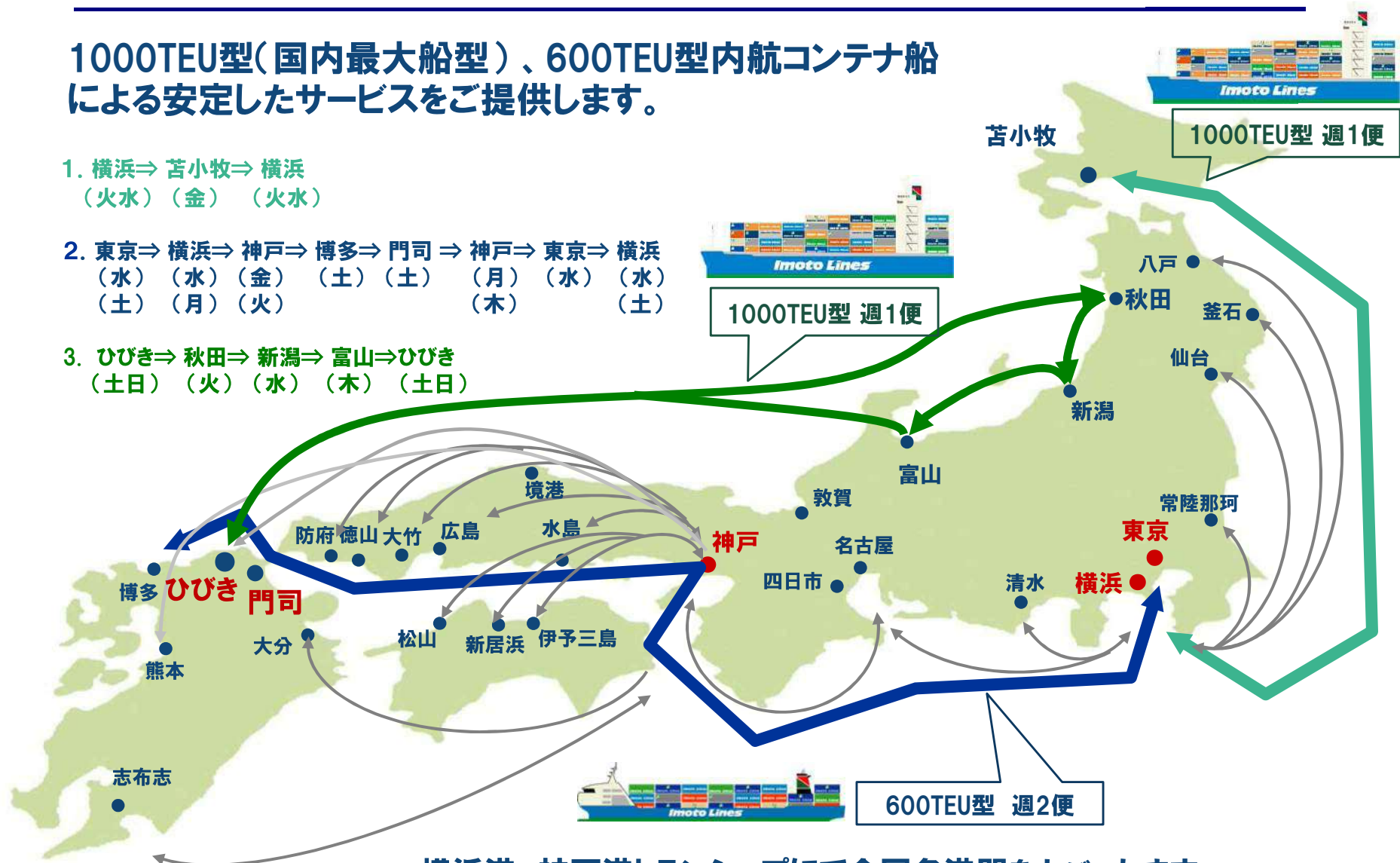




内航コンテナ船 航路ネットワーク

1000TEU型(国内最大船型)、600TEU型内航コンテナ船
による安定したサービスをご提供します。

1. 横浜⇒ 苫小牧⇒ 横浜
(火水) (金) (火水)
2. 東京⇒ 横浜⇒ 神戸⇒ 博多⇒ 門司 ⇒ 神戸⇒ 東京⇒ 横浜
(水) (水) (金) (土) (土) (月) (水) (水)
(土) (月) (火) (木) (土)
3. ひびき⇒ 秋田⇒ 新潟⇒ 富山⇒ ひびき
(土日) (火) (水) (木) (土日)



横浜港、神戸港トランシップにて全国各港間をカバーします。



1. 井本商運について

航路ネットワークと運航船舶

2. 内航フィーダー輸送(輸出入貨物)

国際コンテナ戦略港湾

3. 国内貨物輸送(動静脈物流)

2024年問題に向けて

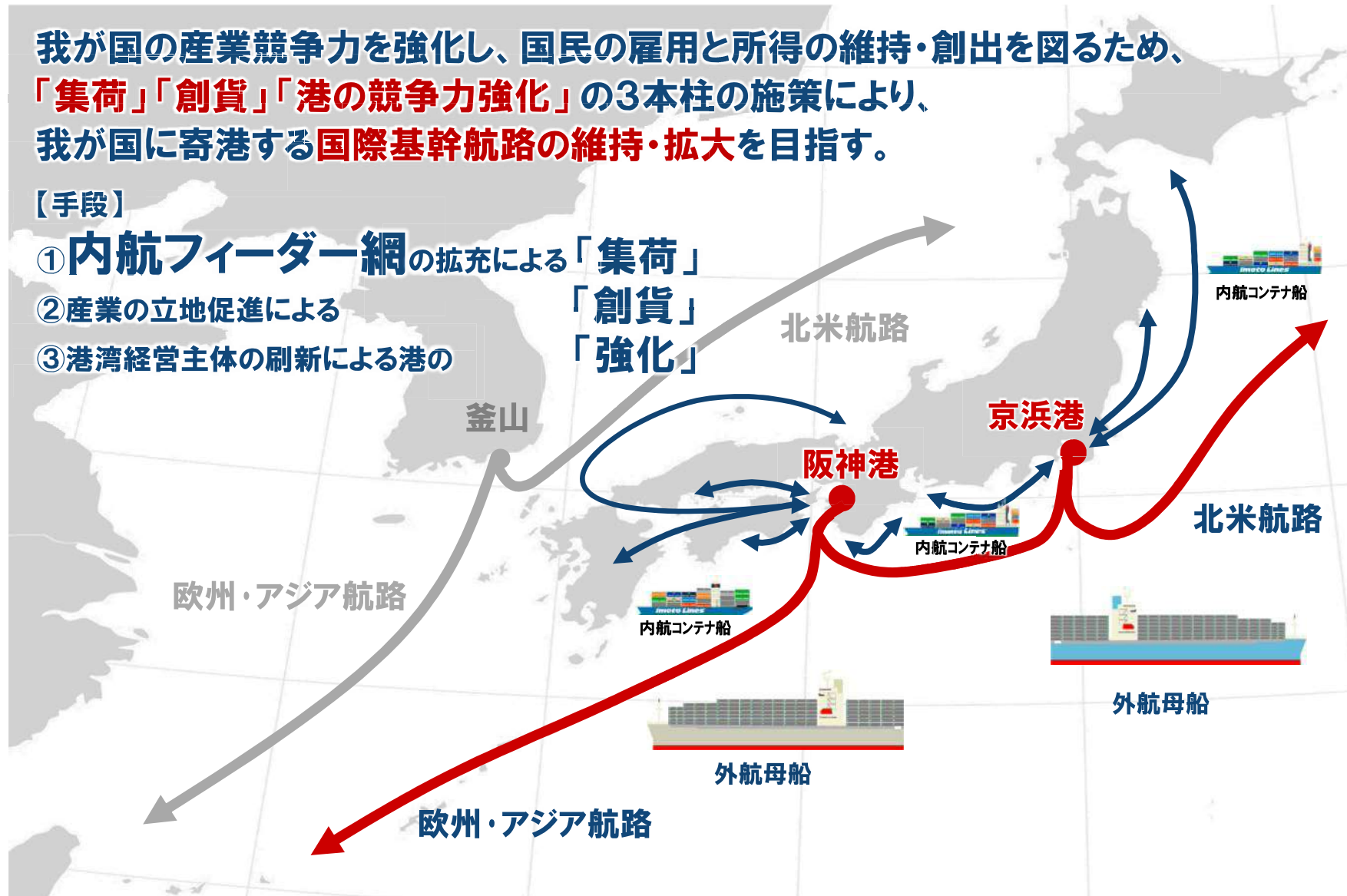


国際コンテナ戦略港湾 (国土交通省2010年8月指定)

我が国の産業競争力を強化し、国民の雇用と所得の維持・創出を図るため、「集荷」「創貨」「港の競争力強化」の3本柱の施策により、我が国に寄港する国際基幹航路の維持・拡大を目指す。

【手段】

- ① 内航フィーダー網の拡充による「集荷」「創貨」「強化」
- ② 産業の立地促進による
- ③ 港湾経営主体の刷新による港の





神戸港 内航コンテナ船作業風景





日本海東航路

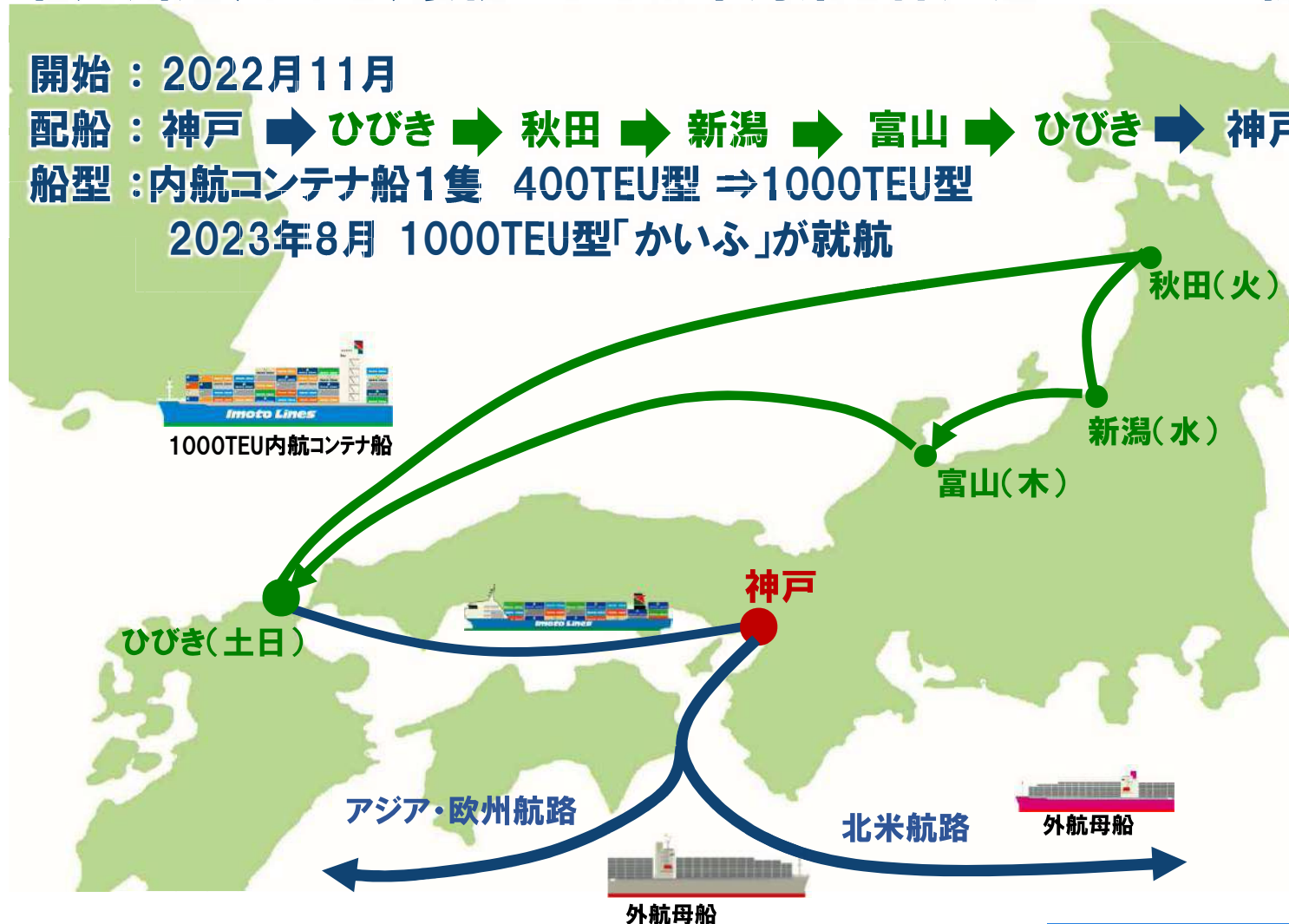
北九州港(ひびき)接続による日本海東と神戸港のサービス提供

開始：2022月11月

配船：神戸 ➡ ひびき ➡ 秋田 ➡ 新潟 ➡ 富山 ➡ ひびき ➡ 神戸

船型：内航コンテナ船1隻 400TEU型 ⇒ 1000TEU型

2023年8月 1000TEU型「かいふ」が就航





北九州港“ひびき”を基点とする物流網

北九州港(ひびき)を**基点**に内航コンテナ輸送が可能

東北から九州、中国、山陽、四国へ
九州、中国、山陽、四国地方から東北に
内貿コンテナ輸送 **海コン便**の利用が可能





1000TEU型本船「かいふ」北九州港“ひびき”初入港風景





1. 井本商運について

航路ネットワークと運航船舶

2. 内航フィーダー輸送(輸出入貨物)

国際コンテナ戦略港湾

3. 国内貨物輸送(動静脈物流)

2024年問題に向けて



物流の2024年問題

物流・運送業界の「2024年問題」とは、働き方改革法案によりドライバーの労働時間に上限が課されることで生じる問題の総称のこと。

国の「持続可能な物流の実現に向けた検討会」では、営業用トラックの輸送能力が2024年には14.2%さらに2030年には34.1%不足する可能性があるとして試算している。





内貿コンテナ輸送サービス(海コン便)

国内輸送にも、国際輸送で使用されている
20フィート・40フィート ISOドライコンテナ を使用
汎用コンテナであるため、コンテナの片道利用が可能



40フィートドライ型



20フィートドライ型



特殊コンテナ（海コン便）

貨物形状・荷役形態に応じた、
お客様専用の特殊コンテナ製造も検討可能



20フィート
オープントップ型



40フィート
ウイング型



20フィート
サイドオープン型





特殊コンテナ（SOC事例）

海上コンテナに積載すれば、
多種多様な貨物の海上輸送が可能

タンクコンテナ（液体用）



出典：日本コンセプト

バルクコンテナ（粉粒体用）



出典：センコー

フラットラックコンテナ(大型用)



リーファーコンテナ(冷蔵冷凍用)





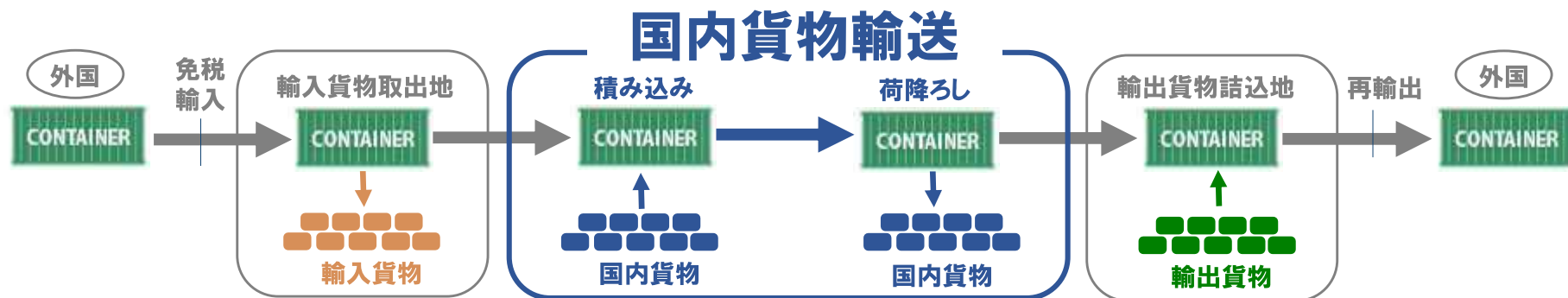
輸出入、内貿コンテナの積み合わせ

物流の2024年問題に対する受け皿として、
輸出入コンテナと内貿コンテナの積合せ輸送を行い、
内航コンテナ船ネットワークの更なる拡充(好循環)につなげる。





輸出入コンテナの国内貨物輸送への転用



2012年4月1日「関税定率法等の一部を改正する法律」の施行により、免税コンテナに係る手続きが変更

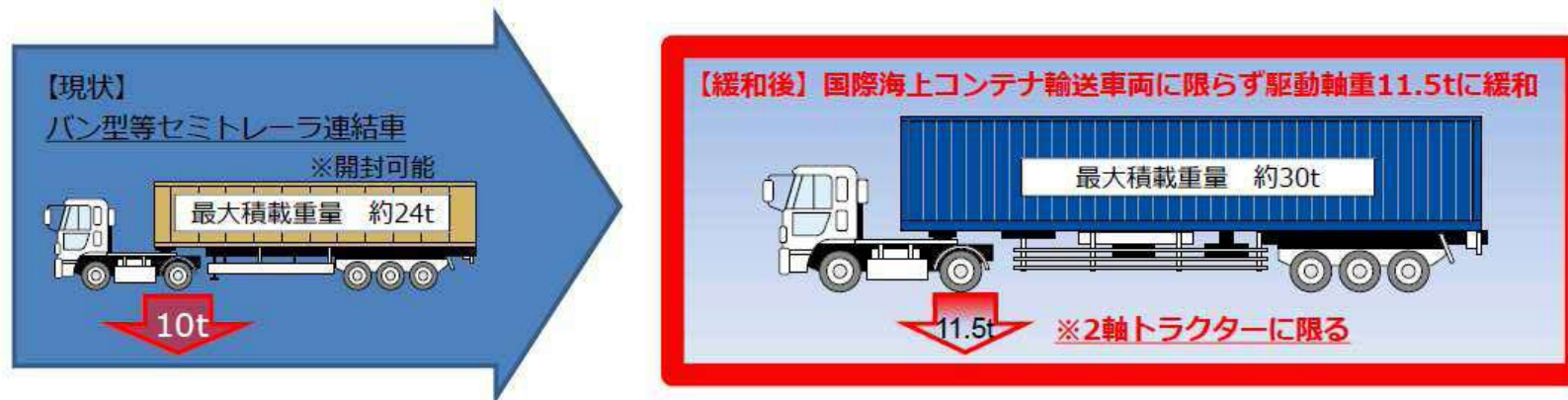
免税コンテナに係る手続き	改正前 (2012年3月まで)	改正後 (2012年4月から)
空コンテナの国内輸送への使用	不可 貨物を詰めて輸入されたコンテナであること。	制限なし
国内輸送の経路	制限あり 貨物の取出地から詰込地までの通常経路である必要がある。	制限なし
国内輸送への使用回数	1回に限る	制限なし
国内輸送使用の事前申請	必要	不要
再輸出期間	原則3か月	原則1年

特殊車両通行許可基準の見直し(軸重)

- 国際海上コンテナ輸送車両に限り許可されていた駆動軸重をバン型等セミトレーラ連結車にも同等の緩和
【H27年3月改正】

緩和の内容

駆動軸重の制限を現行の10tから11.5tに引き上げ



※車両制限令第3条第2項に規定されるバン型、タンク型、幌型、コンテナ又は自動車運搬用の連結車の5車種に、あおり型、スタンション型、船底型の連結車を加えた8車種が対象

※エアサスペンションを装着する車両など、今回の緩和により道路運送車両法の保安基準適合となる車両が対象

緩和の効果

最大積載重量が国際海上コンテナ輸送車両と同等の**約30tまで積載できる**



静脈輸送への取り組み

全国多数の自治体より
産業廃棄物収集運搬許可を取得済み



各種輸送実績あり



廃プラ・廃油・汚泥・焼却灰・汚染土壌 など





こんなお悩みをお持ちの場合

- ☑ **モーダルシフト**を推進したい
- ☑ **物流の2024年問題**への対応を検討したい
- ☑ **BCP対策(多モード・多ルート化)**を検討したい
- ☑ **中ロット・大ロット貨物**を定期、不定期に輸送したい
- ☑ **安定した輸送モード**を確保したい
- ☑ **最寄港を活用**した物流ルートを確保したい

フィーダーもモーダルシフトも井本商運 にご相談ください！



ご清聴ありがとうございました！



井本商運株式会社

〒650-0035

神戸市中央区浪花町59番地 神戸朝日ビル

連絡先 営業部

TEL : 078-322-1602 / FAX : 078-322-1625

Mail : sales@imotoline.co.jp